



公共下水 普及率大丈夫か

宇都宮 明宏 議員

宇和町普及率80%以上

問 西予市は、南予の水
源として下流の人々
に対し良質な水を提供し
ている。また、明浜町、
三瓶町の海域から自然の
恵みを享受する地域であ
る。公共下水事業の現在
の普及率と目標数値及び
対策と5町の将来像につ
いて伺いたい。

産業部長 農業集落排水事業は、宇和町内の五地区において、どの地区も普及率は80%以上であり、5カ年の加入率目標を立て、最終目標の全戸接続に向けて啓蒙活動に務めます。将来は宇和町で7箇所、野村町で4箇所、三瓶町で5箇所、明浜町で3箇所、城川町で3箇所を計画しています。

問 本市においては、厳しい財政状態を考えた時に、合併特例債よりも有利な過疎債を有効に使うことが重要だと考えますが、その為の過疎地域自立促進計画はどこまで進んでいるのか。また事業計画の変更、許可予定額の見直しについて伺いたい。

総務部長 過疎地域自立促進後期5カ年は、現在策定を進めており、3月定例会に提出し審議願いたい。計画変更はないが許可予定額については平成16年度の過疎債は約20億4千7百万円であり、ます。

問 治安の家徴とも言える警察署が無くなれば、安心して生活を送る上で大きな問題である。県内19警察署統廃合問題が浮上し、対象として野村警察署があげられた。住民は治安悪化を強く懸念しており、特に野村署管内は広大で山間部が多く県境に接し、野村署が無くなれば、事件、事故への迅速な対応が困難になると予想される事から野村警察署の存続を求めて地元住民は約8千人分の署名を知事や県警本部長に提出されており、市長の所見を伺いたい。

市長 過疎化、高齢化が急速に進んでいる現状をふまえ、更に野村、城川においては地理的に非常に遠隔地であること等地元から存続要望の請願も出ており、議会と住民の声を聞いて対応したいと思えます。

生活排水処理事業進捗状況は 住民のより快適な環境整備を図り、併せて生活排水による河川等の水質汚濁を防止するため、生活雑排水処理対策事業が推進されておりますが、西予市内での集落排水事業、合併浄化槽事業の現在の設置普及状況と将来の計画は、更に、西予市内の生活排水処理対策事業が全て完了する目標年度はいつなのか伺いたい。

産業部長 現在、西予市全体の普及率は92%、農業集落排水事業で92%、小型合併浄化槽で、18%になっているのが現状です。

尚、市内すべて事業完了する基本構想は平成44年度を目標としています。

統合するの野村警察署



補助金の見直しは

問 財政危機状況は、今後ますます厳しさが

野村警察署の存続を

兵頭 勇 議員

住民の声聞き対応したい



増大し財政の硬直化が一段と進んでいくものと判断される。市単独補助事業において、補助金の削減等については、幅広く学識経験者等を含めた補助金の検討委員会的な諮問機関を設けて、財政危機を乗り越え市民の負託にこたえるべきと思うが理事者の所見を伺いたい。

総務部長 市単独補助金の見直しについての今後の具体的な取り組みは、総務課行政係が6つの重点項目を掲げ、助役を本部長とし、民間の方々を含めた行政改革の推進に取り組み段階となっています。その重点項目の中で「健全な財政運営」という部門が設けられ、その部会のなかで特別チームを編成した上で調査、研究を行いたいと考えています。

西予市も「レジ袋」の取組を

菊地 ミスギ 議員

西予市全体に啓蒙したい



問 豊かな自然と生活環境を守っていくことは、我々ばかりではなく子々孫々のためにも重要なことである。ごみの減量化と資源節約の観点から「レジ袋」削減の取り組みについて伺いたい。

福祉部長 10月1日から1カ月間「買い物袋持参運動」期間です。西予

市全体に啓蒙していきたい。全国各地で取り組んでいる事例等も研究し、女性団体や消費者グループ、又、商工業者等とも協議をして、レジ袋を含む「ゴミ」の削減に取り組む考えであります。

災害弱者データ管理を 災害の犠牲者の多くがお年寄りである。災害が発生し避難をする際に手助けが必要な高齢者や、身体障害者がこの家にいるかというデータを把握し、管理し、救助の体制を確立しておく必要があるのではないかと伺いたい。

福祉部長 消防署において「独居老人防火診断調査表」が保管されており、調査表には身寄りの有無や付近の見取り図、家屋の状況など必要とされる内容が記載されており、そのデータを共用することが大切であると考えています。身体障害者については、障害者福祉を担当している職員にはその状態が分かっており、介助が必要とされる災害弱者の把握は可能であり、

早急に調査を行いたい。地区の民生委員も、担当する区域内の災害弱者と言われる高齢者や障害者を把握しており、それを照合、調整し、統一した情報として共有を図っていききたい。今後の対応として西予市防災計画の中で、地域ごとにきめ細や

かな自主防災組織作りをはじめとした、環境を整備していく必要があると考えています。福祉、消防、地域が一体となり、いざ災害が発生した場合には迅速に災害弱者を救出できる体制を整えてまいりたいと考えています。



いつか歌おう西予市ソング

西予市のテーマソング作っては

問 歌や音楽は、古来から人々の暮らしの中に息づいてきた大切な文化の一つであり、現在は、医療効果の面からも重要性が検証されている。市民の一体感を高めるために西予市の歌または音頭を創ることについて伺いたい。

市長 旧町には、音頭や小唄など合わせて13曲があり、地域の皆さまに長く親しまれて愛着のあるものだけに、これから歌い継がれていくよう願っています。市の歌制作については、今後広く意見を聞きながら検討して参ります。



お買物は「マイバック」で